

晴れて1622人（男性843人、女性779人）が成人に

久喜地区 756 人、菖蒲地区 204 人、栗橋地区 301 人、鷺宮地区 361 人

若者の
みなさん



鷺宮地域の式典で。右上は宣誓する成人代表

11日、市内4か所で成人式が行われました。天気も晴天に恵まれ、穏やかな日和のもと、各会場では、久しぶりに再会した同期の友人たちとの語らいの輪がいくつもできていました。

式典の後は、「二十歳のつどい」成人自身の企画でスライドショーや漫才（鷺宮会場）などが行われ、中学時代の恩師との再会の場面では、最高潮の盛り上がりとなりました。

新成人おめでとう！

希望の持てる未来を共に切り開きましょう

これから日本を背負って行く若者たちに「バトンを渡す」には、今の若者を取り巻く社会環境があまりにも過酷です。20代の労働者の約半数が「非正規社員」と言われます。「サービス残業」は日常的。休日でも「出勤」して月曜日からの準備をする労働者も少なくありません。

ブラック企業の根絶をはじめとして「安心して働くことのできる社会」の構築は、もはや、世代を超えた最大のテーマではないでしょうか。

杉野 おさむ



会場の外で友人たちとの再会に沸く成人のみなさん。振り袖姿もあでやかでした。

2014年久喜市の人口と世帯数（月別）

総人口と総世帯数				
	男（人）	女（人）	合計（人）	世帯数
1月	77,668	77,490	155,158	62,009
2月	77,631	77,467	155,098	62,057
3月	77,592	77,456	155,048	62,087
4月	77,552	77,445	154,997	62,251
5月	77,535	77,465	155,000	62,329
6月	77,490	77,421	154,911	62,358
7月	77,471	77,419	154,890	62,405
8月	77,469	77,445	154,914	62,460
9月	77,459	77,449	154,908	62,512
10月	77,447	77,430	154,877	62,548
11月	77,396	77,425	154,821	62,577
12月	77,332	77,377	154,709	62,568
増減	-336	-113	-449	559

人口減少にどう対応！

久喜市の人口は、昨年1年間で男性336人女性113人、合計で449人の減少になっています。日本人だけに限れば男女合計で503人の減少です。埼玉県内で、2014年11月中の人口減少の上位は、久喜市が122人、2位の春日部市101人、3位の和光市100人を抑えて第1位という残念な結果が出ました。（数字は埼玉新聞より）

政府が「地方創生」を掲げる中、人口減に悩む各自治体では、色々な取り組みが行われています。久喜市でも、平成34年までには5000人の人口減が見込まれています。早急な対策が求められています。尚、地区別では久喜地区69,096人、鷺宮地区38,309人、栗橋地区27,104人、菖蒲地区20,200人となっています。

市民のいのちを守れ！

交通安全対策



さいたま栗橋線からアリオへ向かう交差点

平間 ますみ

対策が求められているのは、さいたま栗橋線北陽高校前の信号から、香取公園側を通り鷺宮アリオへ向かう交差点です。ここは信号機が設置されていません。多くの市民が、いつも通るたびに危険を感じています。昨年11月25日午後5時23分、軽貨物車と自転車の交通事故が発生しました死亡事故でした。現場の近くに住む若いお母さんは「子供がおり、横断するのに危険な場所なので一日も早く信号機を付けてほしい」と話されています。

香取公園に面するこの交差点は通学路でもあり、多くの方の散歩コースでもあります。体の不自由な方もリハビリのために公園の周りを散歩しています。しかし、車の往来が多いときはなかなか横断することができません。ふたたび不幸な事故が起きる前に、早急に信号機の設置が必要です。

尚、写真は意識的に車が通過しない時を撮っています。

広域利根斎場組合(メモリアルトネ) 議会が開催

加須市・久喜市・幸手市・宮代町で構成している利根斎場組合議会が2014年12月25日開催、平成25年度決算認定など審議されました。議会は通常、予算と決算を審議するため年2回開催されています。

決算認定では、斎場利用の待ち日数が平均6.1日との報告がありました。待ち日数の取り組みなどについて質疑しました。

問 火葬室、葬祭場の待ち日数が長いと考える。短縮に向けた取り組みはどうか。

答 最大の待ち日数は12日でした。遺族の方の希望する場合があります施設に空きがないことからの理由だけではないと考えられます。

火葬は一日最大で15回ですが、更に回数を増やすことは可能です。葬儀式場を増やすことは困難です。民間とも共存して進めていきたいと考えています。

(石田としはる議員が斎場組合議員です)

原発再稼働にストップを

昨年12月の総選挙では、自民・公明両党が325議席を占め、第3次安倍政権が誕生し「原発の再稼働」を押し進めようとしています。

昨年9月、九州電力の川内(せんだい)原発は、原子力規制委員会による新基準の審査に合格しました。しかし、規制委員会では、「合格したから絶対安全とは言えない」としています。

共同通信のアンケートによれば、「再稼働の同意手続きの対象を立地自治体のみに限定したやり方を妥当」としたのは、全国原発の半径30キロ圏に入る160の自治体のうち、約2割のみであることがわかりました。

立地自治体以外の自治体からも同意に加われないことへの不満が多く出されています。



住民の「避難計画」も立てていない川内原発

事故時の避難計画の策定は県に一任されていますが、いまだに計画は立てられていません。

選挙後も、「再稼働反対」が過半数を占める国民の声も聞かず、国政の重要課題を進める安倍政権。「安全神話」を再び振りかざしているわけがありません。

渡辺 まさよ

平成25年度メモリアルトネ 施設利用件数 (平成25年4月～平成26年3月)

	加須市	久喜市	幸手市	宮代町	組合外	合計	前年度	増減
死亡件数	1,242	1,363	597	301		3,503	3,367	136
火葬室	1,150	1,276	535	154	122	3,237	3,151	86
待合室	1,793	1,519	528	145	119	4,104	4,140	▲36
葬祭場(大)	365	174	14	6	4	563	540	23
葬祭場(小)	328	219	21	8	11	587	565	22
霊安室	324	186	14	7	7	538	505	33
小動物	1,187	1,247	512	90	37	3,073	2,960	113



緑に囲まれ静かなメモリアル・トネ

「待ち日数」について
ご遺体を安置することは大切なことです。特に夏の暑い時期など、待ち日数を短くすることが求められます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
火葬室利用数	289	273	227	243	259	209	259	267	301	306	287	317	3,237	
待ち 日数	3.9	3.9	3.8	3.5	3.6	3.7	3.8	4.0	4.1	4.4	4.4	4.3		3.9
葬祭場利用数	51	49	43	46	50	40	53	48	49	45	44	50	568	
待ち 日数	6.0	5.7	5.0	5.6	5.3	5.4	6.1	6.1	6.7	7.4	6.5	6.9		6.1